



図書館だより

6月号



大鳥中学校

6月は梅雨のイメージが強く、どこか鬱々とした印象を持つ人が多いかもしれません。でも、視野を広げれば紫陽花やジューンブライドなど、6月ならではの明るい風物詩が多いことも事実！憂鬱な天気に負けない楽しみを見つけて、気持ちごとリフレッシュしていきましょう。

6月ならではの風物詩といえばまずは梅雨。蒸し暑い、洗濯物が乾かない、カビが発生しやすいなどネガティブなイメージが強いことが特徴かもしれません。とはいえ、かわいいレインブーツを履いてみたり、雨の日の紫陽花を楽しんだり、梅雨を満喫する方法もありますよ。

次に「夏至」。「日が長くなったな」と感じることがあれば、夏至が近づいているのかもしれません。夏至に特定の食べ物を口にする風習は広がっていますが、地域によってはオリジナルの文化があることも。例えば関東では、焼き餅をつくり、残り半年も粘り強く生きられるよう祈願するのだそう。また、関西地方では田植えが終わった6月のタイミングで豊作を祈り、末広がりの「8」にあやかって足が8本あるタコを食べる風習が残っていると言われています。

そして、晴れることを祈っててるてる坊主を作る人が増えるのも、6月ならではです。楽しみにしている予定がある日に雨予報だったら、童心に帰ってて



ちょっと一息

6月に因んだクイズに挑戦!!

①梅雨時によく見かける「カタツムリ」。カタツムリは藻や野菜、キノコなどを食べますが、他にもある意外なものを食べています。それは一体なんでしょうか？

1. 泥
2. ザリガニ
3. コンクリート



答えは 3. コンクリート

カタツムリの殻は生まれた時からついている体の一部であり、炭酸カルシウムという成分で出来ています。カタツムリが殻を維持・形成するためには、炭酸カルシウムを摂取する必要があります。雨にさらされたコンクリートからは炭酸カルシウムが染み出してくるため、カタツムリはこれを摂取していると言われています。

②梅雨時に綺麗に咲くアジサイの花。実はある条件によって青い花が咲くか、ピンクの花が咲くかが決まります。その条件とは一体なんでしょうか？

1. 土の温度が 20°C 以上か、19°C 以下か
2. 土が酸性かアルカリ性か
3. 農薬を与えるか与えないか



答えは 2. 土が酸性かアルカリ性か

アジサイは酸性の土だと青い花、中性～アルカリ性の土だとピンクの花になります。

③6月の第3日曜日は「父の日」です。では、父の日発祥の国はどこでしょうか？

1. タイ
2. 日本
3. アメリカ



答えは 3. アメリカ

アメリカのソノラ・スマート・ドットという女性が、1909年（明治42年）に牧師教会へ「母の日だけではなく、父親へ感謝する日も作ってほしい」と嘆願しました。そして、1910年（明治43年）6月19日に初めて父の日の式典が開催されました。しかし、この時点では先に成立していた母の日ほど認知されていませんでした。1916年（明治49年）の父の日の式典で、第29代アメリカ大統領ウッドロー・ウィルソンが演説を行ったことをきっかけに広まっていきました。